

様式1 人口、建物、避難所等の施設、災害危険性の評価

●住所名称

Table with 3 columns and 10 rows listing residential areas: 大別當, 上曲通, 木滑, 下曲通, 月潟, 釣寄, 釣寄新, 西萱場, 東長嶋.

●位置図

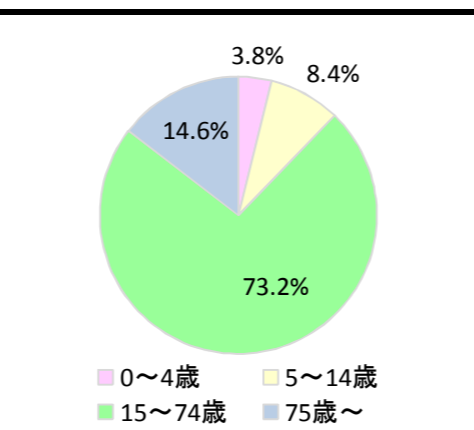


●施設・団体

Table listing facilities and organizations: 市役所・区役所等 (月潟出張所), 警察・消防 (月潟駐在所), 消防団 (南方面隊 月潟分団・月潟萱場曲分団・月潟西分団), 水防倉庫 (月潟), 一時避難場所 (曲通児童遊園, 木滑農村公園, etc.), 広域避難場所 (月潟保育園), 主な用要施設配慮者 (幼稚園・保育園, 高齢者福祉施設, 障がい者福祉施設).

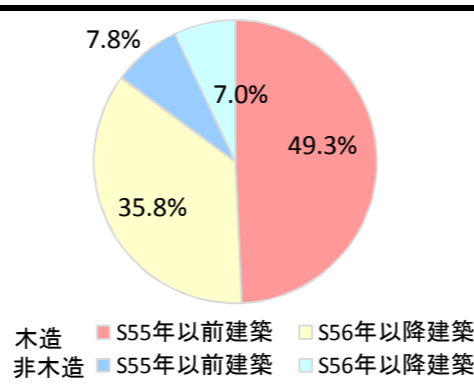
●人口

Table with 4 columns: 総人口, 年齢層 (0~4歳, 5~14歳, 15~74歳, 75歳~, 65歳以上人口), 世帯数, 一世帯あたり人口, 人口密度, 昼間人口.



●建物関連指標

Table with 4 columns: 総棟数, 木造 (S55年以前建築, S56年以降建築), 非木造 (S55年以前建築, S56年以降建築), S56年以降建築物.



●地区内の避難所・津波避難ビルなど

Table listing evacuation sites within the district: 月潟小学校, 南区月潟健康センター, 月潟中学校, 月潟農村環境改善センター, いこいの家月寿荘, 月潟地区公民館. Columns include facility name, elevation, floors, and disaster types (地震, 津波, 洪水, 土砂災害).

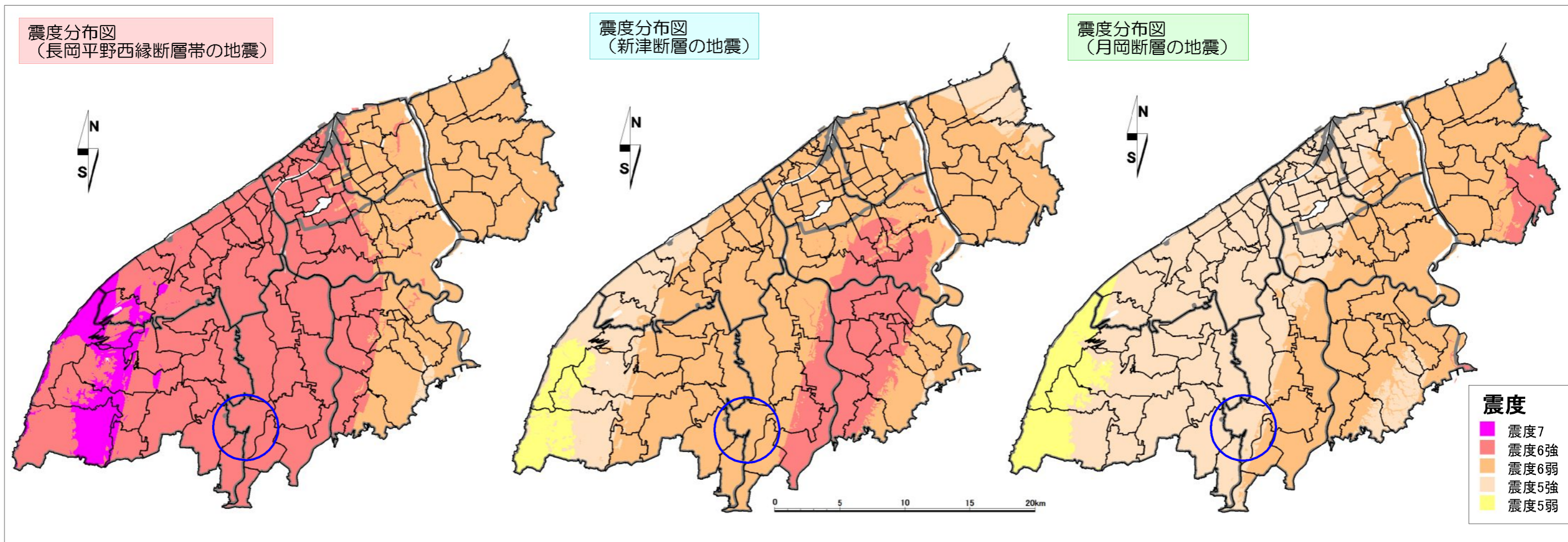
●地区外の避難所・津波避難ビルなど

Table listing evacuation sites outside the district: 味方地区千日運動施設, 諏訪木保育園, 茨曽根小学校, 茨曽根地域生活センター. Columns include facility name, elevation, floors, and disaster types.

避難の可否:「-」はそれぞれの災害で避難の対象外、津波で「×」の施設は、津波避難の対象外かつ津波浸水の危険性がある。

●災害危険性の評価

Table evaluating disaster risks: 津波・地震 (地区の広い範囲に軟らかい地盤が分布するため、大きい地震の時には、強い揺れや液状化の可能性がある。津波の浸水は想定されていない。), 水害・土砂 (中ノ口川の洪水、大河津分水路の洪水及び新川・大通川流域の洪水によって、地区の広い範囲で浸水の可能性がある。)



	長岡平野 西縁断層帯	新津断層	月岡断層
地震の規模: モーメント マグニチュード	7.46 (気象庁マグニチュード 7.9に相当)	6.45 (気象庁マグニチュード 6.7に相当)	6.76 (気象庁マグニチュード 7.1に相当)
(参考※) 平均活動間隔 約 1,200 年~3,700 年 断層の活動性 3m/千年程度		明確な活動性は明らか になっていない。 月岡断層より、活動性 は低いと考えられる。	平均活動間隔 7,500 年以上 断層の活動性 0.4m/千年程度

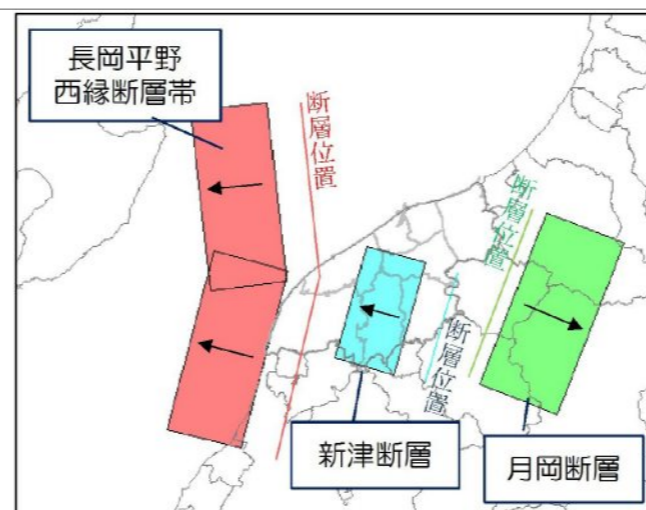
※(参考) 国の地震調査研究推進本部の活断層帯の長期評価(算定基準日:平成 27 年 1 月 1 日)及び東京大学地震研究所 佐藤比呂志教授の助言を参考として記載しています。

【地震発生確率について(地震調査研究推進本部資料より)】

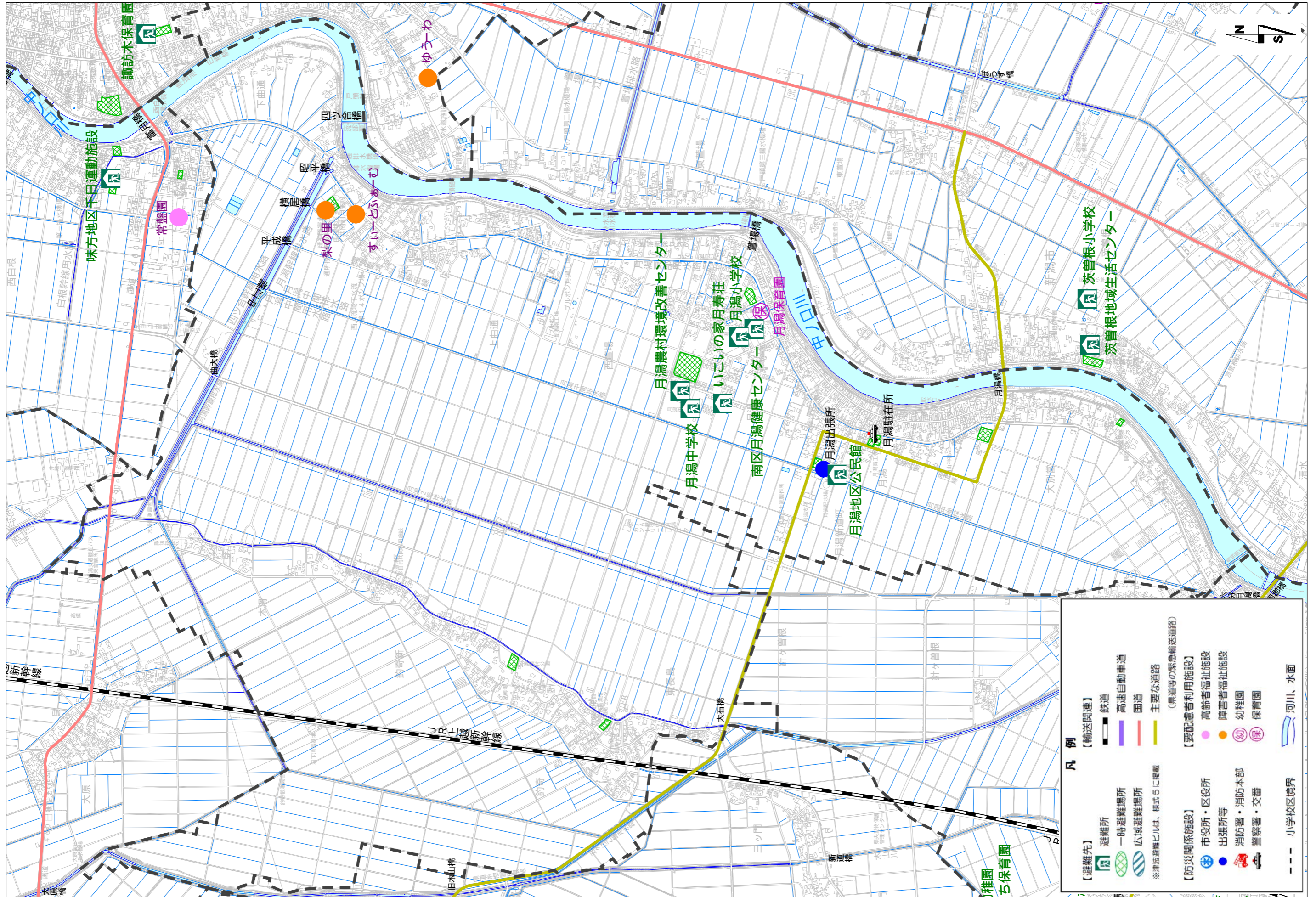
過去の地震活動の時期や発生間隔は、幅を持って推定せざるを得ない場合が多いため、地震発生確率は不確定さを含んでいます。また、新たな知見が得られた場合には、地震発生確率は変わることがあります。

<<モーメントマグニチュードと気象庁マグニチュード>>

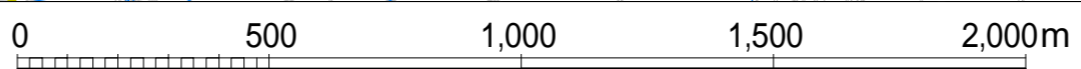
モーメントマグニチュードは、地震で岩盤が動いた面積等をもとに計算するため、計測に時間を要しますが、エネルギーの規模を正確に測定することができます。これに対して、気象庁マグニチュードは、地震計で計測される波の振幅から計算しており、迅速に発表することができます。

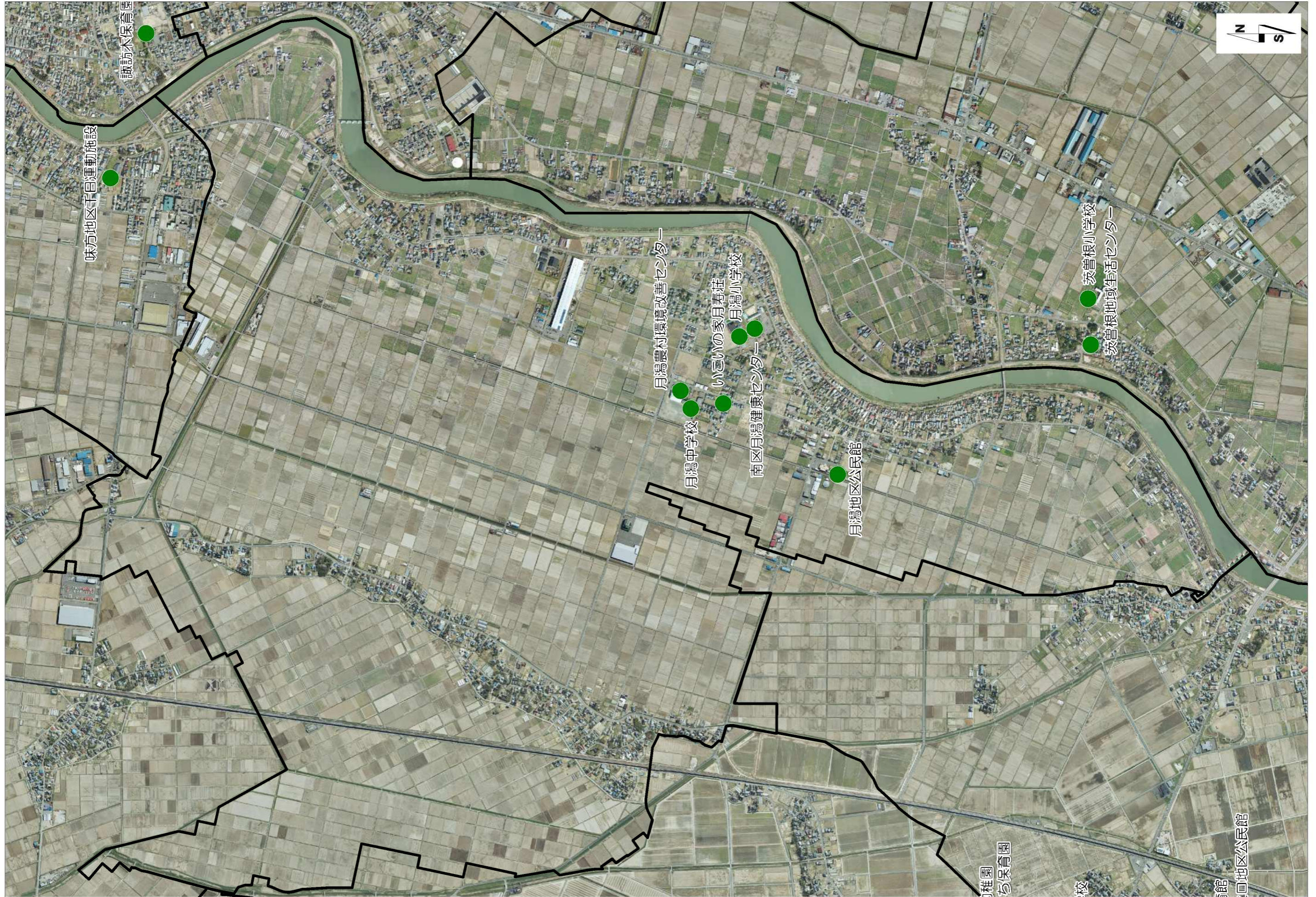


← は、断層の傾きを示しています。

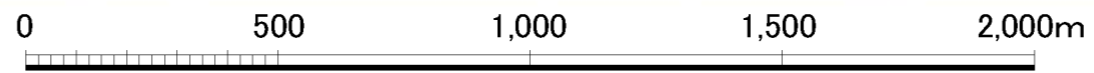


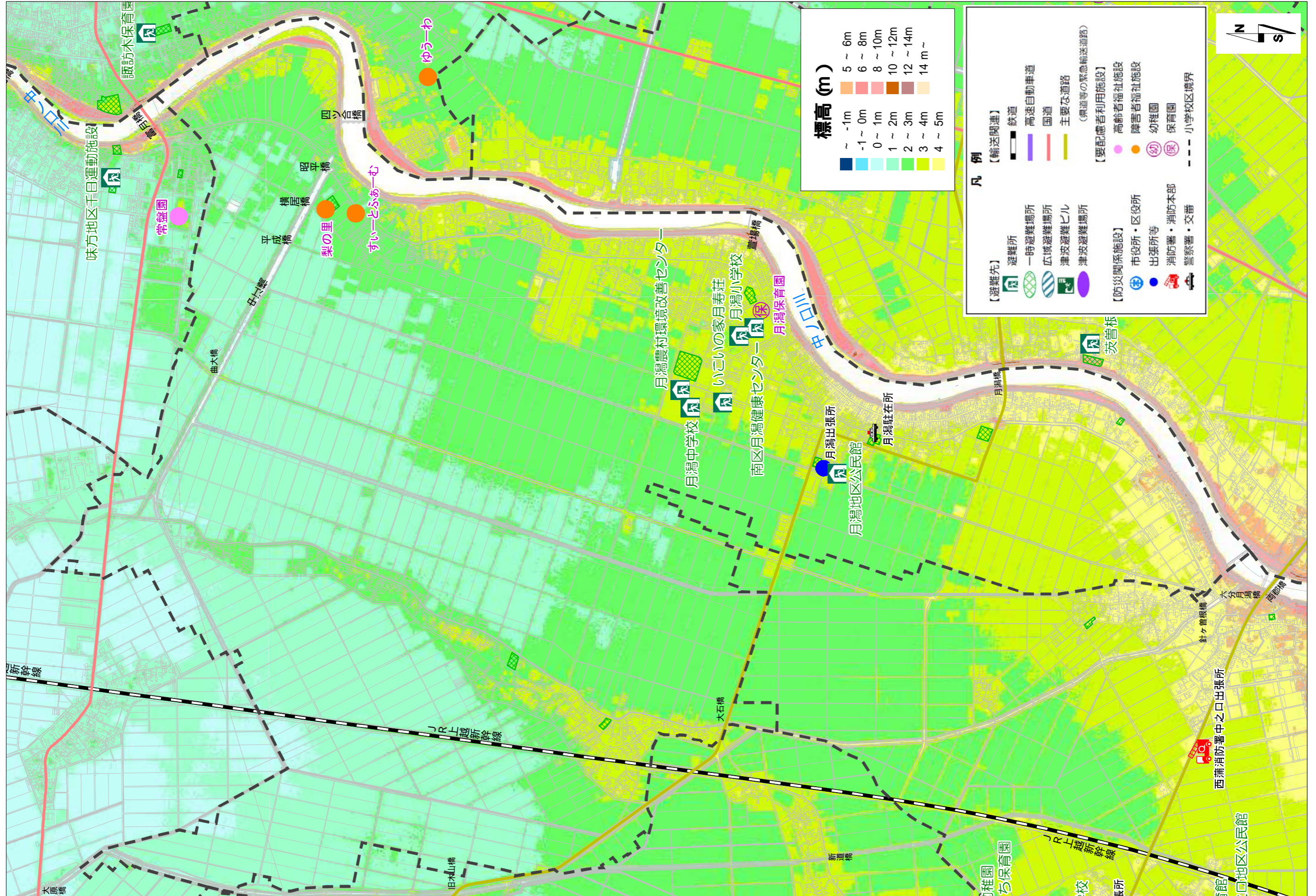
[出典] 基礎の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)



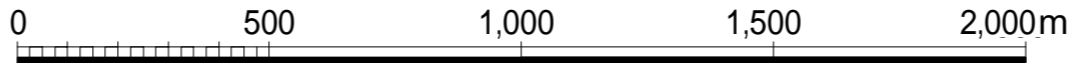


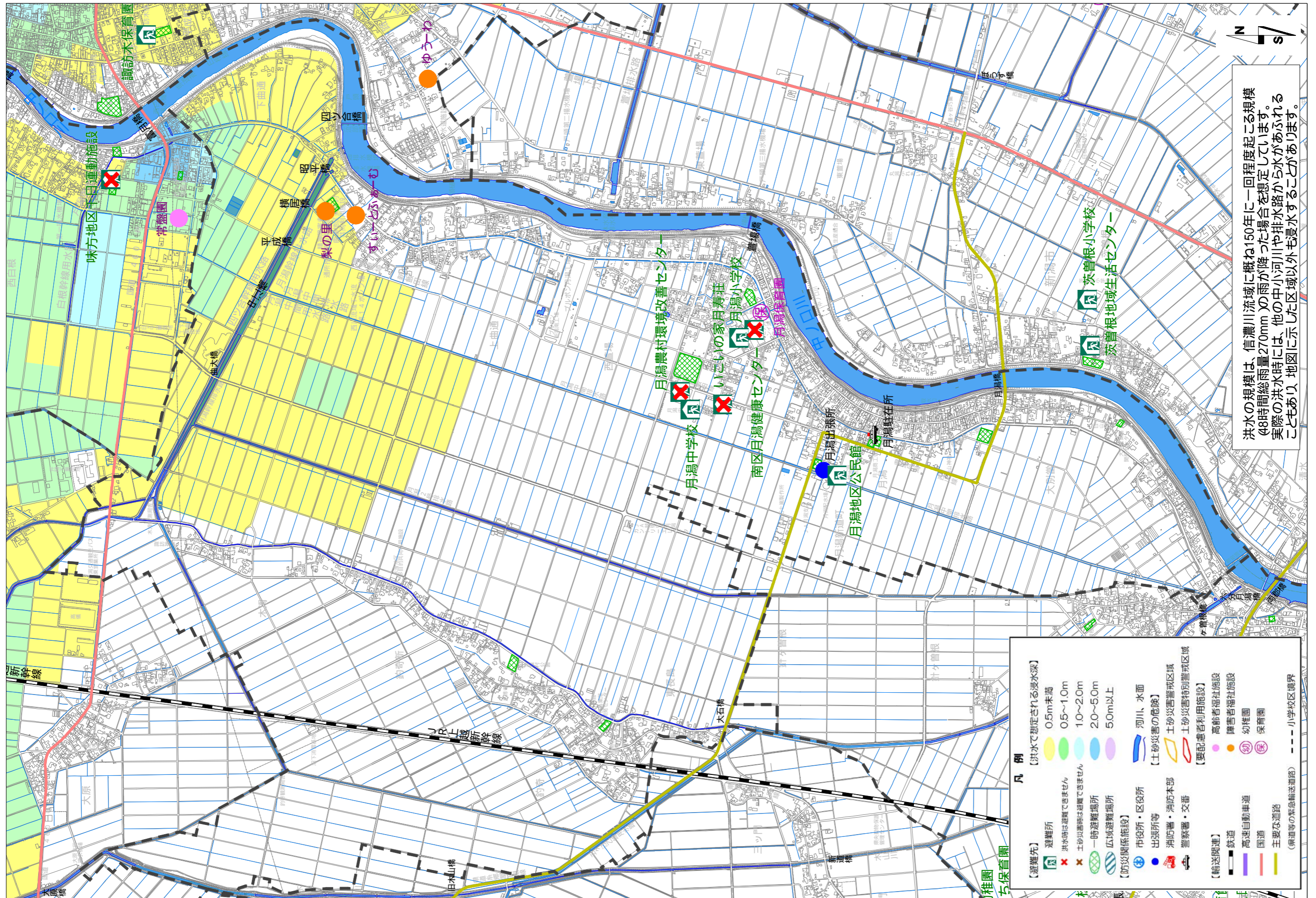
〔出典〕 航空写真(平成26年4月)





[出典] 基礎の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)  
5mメッシュDEM (国土地理院, 平成25年)





洪水の規模は、信濃川流域に概ね150年に一回程度起こる規模（48時間総雨量270mm）の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

**凡例**

【避難先】  
 避難所  
 洪水時は避難できません  
 土砂災害時は避難できません  
 一時避難場所  
 広域避難場所  
 【防災関係施設】  
 市役所・区役所  
 出張所等  
 消防署・消防本部  
 警察署・交番

【輸送関連】  
 鉄道  
 高速自動車道  
 国道  
 主要な道路  
 （県道等の緊急輸送道路）

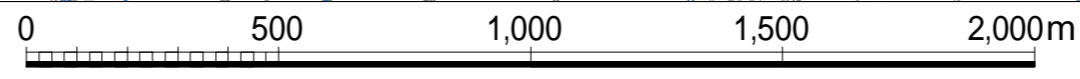
【浸水想定される浸水深】  
 0.5m未満  
 0.5～1.0m  
 1.0～2.0m  
 2.0～5.0m  
 5.0m以上

【土砂災害の危険】  
 河川・水面  
 土砂災害警戒区域  
 土砂災害特別警戒区域

【要配慮者利用施設】  
 高齢者福祉施設  
 障害者福祉施設  
 幼稚園  
 保育園

--- 小学校区境界

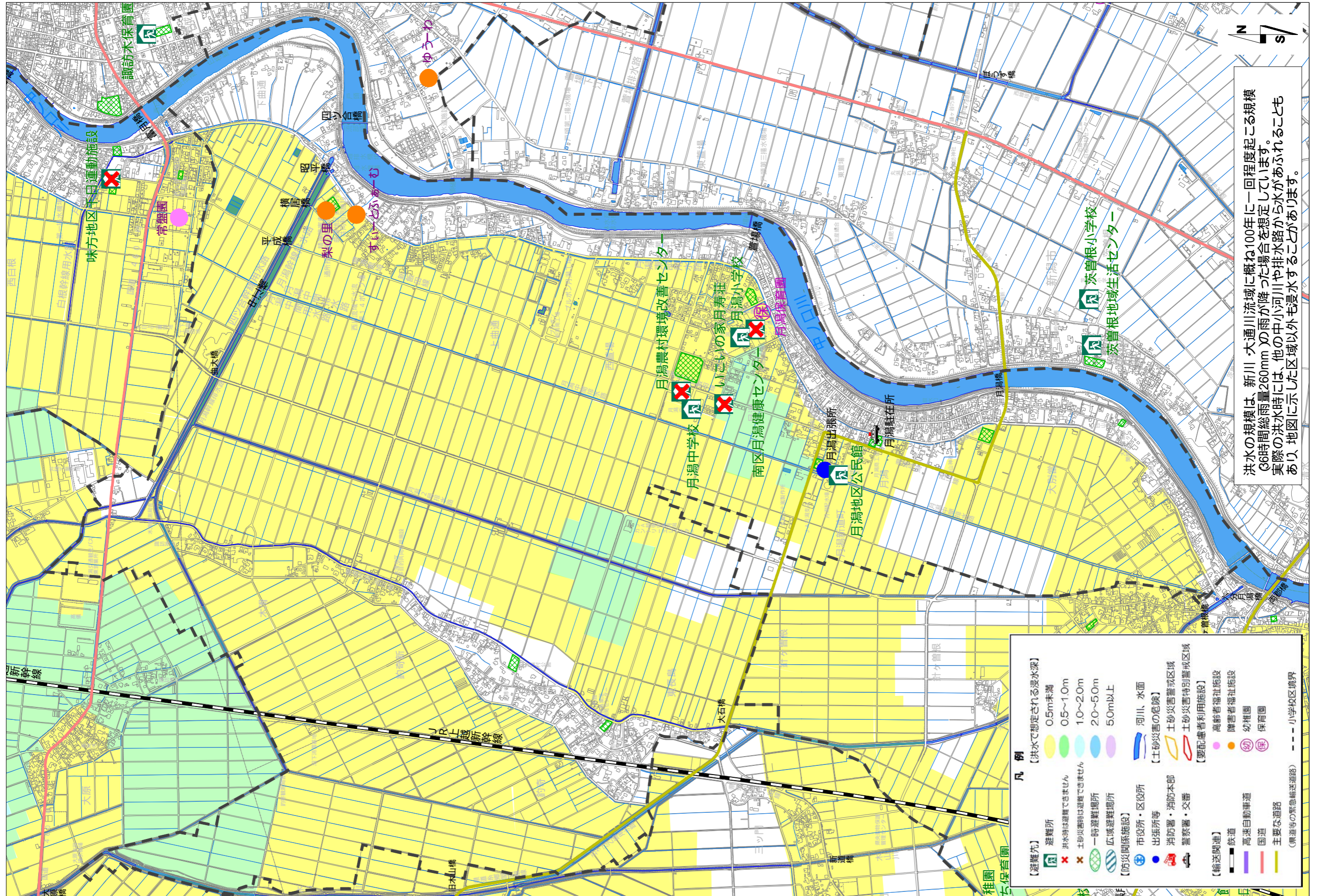
【出典】 基盤の地図 新潟市国土基本図（平成20年，平成25年，平成26年）  
 中ノ口川浸水想定区域（新潟県，平成16年6月15日）





様式6-3 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（新川・大通川・広通川・西山川・大通川放水路）

月潟小学校区



洪水の規模は、新川・大通川流域に概ね100年に一回程度起こる規模  
 G6時間総雨量260mmの雨が降った場合を想定しています。  
 実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれること  
 あり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

【出典】 基盤の地図 新潟市国土基本図（平成20年、平成25年、平成26年）  
 新川・大通川・広通川・西山川・大通川放水路浸水想定区域（新潟県、平成20年2月26日）

